

2008年度 JEITAソリューションサービス 事業委員会セミナー

■主 催：ソリューションサービス事業委員会

■参加者数：101名

概 要

ソリューションサービス事業委員会（委員長：富士通総研・伊藤大孝氏）は、ソリューションサービスをわが国の競争力ある産業として育成するため、ビジネス環境の整備、ソリューションサービス品質の向上等についての施策提言や普及推進活動を行っています。

同委員会に設置したソフトウェア開発モデル契約WGでは、JEITAの前身である社団法人日本電子工業振興会が1994年に公表した「ソフトウェア開発モデル契約」を全面的に改定した「ソフトウェア開発基本契約書」（以下『モデル契約』）を策定するとともに、解説書

『ソフトウェア開発モデル契約の解説』（株）商事法務より昨年10月に出版いたしました。

本説明会では上記解説書を用いて、経済産業省の「ソフトウェア開発委託基本モデル契約書」との違い、『モデル契約』条文の意義とその理由、さらに活用にあたっての留意点などを説明しました。

JEITA会員、会員外を問わず、法務部門の方だけでなく、ソフトウェア開発契約の実務に携わる営業、SE、プロジェクトマネジメント部門等、101名の方に参加いただきました。

3月11日には、第2回目の開催が予定されています。

